

平成25年度予算編成方針のポイント

1 日本経済の状況及び国の動向

- (1) 景気 復興需要等を背景に緩やかに回復しつつあるものの、依然として厳しい。
- (2) 国の動向 「持続可能な財政・社会保障制度の構築」、
「復興対策、防災・減災対策」に向けた取組

2 さいたま市の財政状況及び今後の財政見通し

- (1) 財政状況
 - ・ 個人市民税の納税義務者の増加等により、市税収入は微増の見込み
 - ・ 社会保障費など義務的経費が増加
- (2) 財政見通し
 - 平成25年度～平成27年度 約834億円の財源不足
 - 平成25年度 約241億円の財源不足

3 予算編成の基本方針

平成25年度予算編成

<特徴>

- (1) 総合振興計画新実施計画(最終年度)の総仕上げ
- (2) 東日本大震災の経験を踏まえた防災対策等の強化
- (3) これからの100年に向かって活力あるまちづくり

基本方針の具体的内容

- (1) 行財政改革
 - 局長マネジメント予算編成の継続
 - ・ 各局の創意工夫をさらに高め、改革を各所管局が主体的かつ責任をもって実行
 - ・ 前年度一般財源に対し5%シーリング*を実施
(* 義務的・臨時的経費を除く)
 - 公共施設マネジメント計画の推進
 - ・ 「公共施設マネジメント」の着実な実行
 - 行財政改革推進分野への取組
 - ・ 「提案型公共サービス公民連携制度」に係る事業の推進など
- (2) 政策的事業の推進
 - 「総合振興計画新実施計画」の達成
 - 重点分野
 - 「防災、環境・エネルギー対策」
 - 「高齢者支援、子育て支援、教育の充実」
 - 「健康増進、スポーツ振興」
 - 「地域経済の活性化」
 - 市民の声・現場の声の反映、市民ニーズへの対応
 - * スクラップアンドビルドの原則 既存事業の見直しにより財源を捻出
- (3) 普通建設事業費の抑制 臨時的な建設事業を徹底精査
- (4) 歳入の的確な確保及び新たな財源の創出
- (5) 国の動向の的確な把握と対応 当面は現行制度で予算編成